

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(11/22)

文：武田、写真：山 國

日時：2020(令和2)年11月22日(日) 9:30～16:00

気象：晴(活動地点の気温12℃)

活動エリア：44林班は-01

活動内容：モニタリング調査区と直下溪口の林床整備、枯損木・倒木の玉切りと土留めづくり

参加者：斧田一陽、石原順子、倉谷邦雄、武田壽夫、山 國

会員5名

<小雪>

この日は二十四節気の「小雪(シユケツ)」、北海道、東北、北の街ではとっくに暖炉を燃やし始めているだろう(*)。暖炉に代えて写真のストーブは如何？。

一方、ここ本山寺山では12℃とまだまだ冬の寒さにはほど遠く、風も無い絶好の活動日和。例年、12月からは活動場所を標高400～450mの林班45に下るので今日は「44林班は-01」の手入れの最終日。水源地②上手のモニタリング調査区と水が流下する溪口の整備に目途をつけたい。小人数でどこまで出来るか、写真を見てのお楽しみ。

*森進一「襟裳岬」の歌い出しが頭に浮かぶ。因みに、島倉千代子にも同名「襟裳岬」のヒット曲があり、その唄い出しは「風はヒュルヒュル 波はざぶりこ」

<今日の成果>

メンバー一同、老骨に鞭打っての作業、営々の努力に勝るものなし。調査区、溪口合せて中径木6本を処理。土留めは6ヶ所を積み上げる。面積的には600㎡程か。初めての試みとして、傾斜木にロープを架け、傾きが進むのを防ぐ。(写真編②中、【①】は調査区の成果、【②】は溪口の作業状況を示す)

<写真編①>

【活動地要図：□が水源②、その上下で活動】



【郡上八幡 井上会員宅のストーブ 10/08 受信】



<写真編②>

【①-1：10/29 のモリツグ調査区の惨状】



【②-1：倒木・落枝が被さった溪口での作業】



【①-2：何本もの倒木の玉切りを繰り返す 11/22】



【②-2：整備後の溪口部】



【①-3：倒木が土留めになった調査区 11/22】



【②-3：ロープを掛けて傾斜木を起こす】



